

戸田市では
DV被害について悩んでいる方の相談をお受けしています。

配偶者暴力相談支援センター

を設置し、



秘密は厳守します。一人で悩まず、まずはお問合せください。詳しくはこちらよりご覧ください▶

困った時・悩んでいる時の相談窓口

(DV 相談・性に関するお悩み・LGBTQ 関連等)

命の危険を感じたら
110 番を！

相談内容	相談機関	相談時間	受付日	電話番号
・夫婦、家族、友達、性など	上戸田地域交流センター「あいパル」	10:00～17:00 ※要予約(対面相談)	毎日(第3月曜日、祝日を除く。ただし、第3月曜日が祝日の場合は受付可能)	048-229-3133
・暴言、怒鳴る ・性的関係を強要 ・友人や家族間のやりとりをチェック ・生活費を渡さない など	戸田市配偶者暴力相談支援センター	8:30～17:15 ※要予約	月～金曜日 (祝日、年末年始除く)	048-299-5886
・こころの健康についての不安や悩み	戸田市福祉保健センター 〔こころの健康相談〕	9:00～12:00 13:00～16:00 電話、面接相談 ※面接は要予約	月～金曜日 (祝日、年末年始除く)	048-446-6453
・これはDV？ ・今すぐパートナーから逃げたい ・自分だけではなく子供も心配など	DV 相談プラス (内閣府)	24 時間受付 ※チャット相談は 12:00～22:00		0120-279-889
男性のための電話相談 ・職場の人間関係 ・家族・夫婦、DV ・生き方など男性全般の相談など	埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)	11:00～15:00	毎月第1、3日曜日	048-601-2175

その他の埼玉県内相談窓口はこちらからご覧いただけます



埼玉県内相談窓口一覧

・DV、セクハラ等に関する相談
・人間関係、家族、夫婦の相談

・仕事（就労・職場）に関する相談
・犯罪被害に関する相談
・法律に関する情報提供・相談など

上戸田地域交流センター「あいパル」は **戸田市の男女共同参画の推進拠点** です！
男女共同参画情報コーナー（1階 階段前）や、書架（2階 図書館分館）などを設置しています。

男女共同参画相談（電話予約 ➡ 対面相談） 夫婦・家族・友達・性のことなどを相談できます。

あいパルのイベント・講座を Pick up! ※詳細はあいパルのHPをご覧ください。



イベント名	内容	実施日	参加費	事前受付開始日
男女共同参画パネル展	「埼玉県荻野吟子賞」受賞者へのインタビューを通し、自分らしく生きるためのヒント等を紹介したパネルを展示する。	7月20日(日) ～7月31日(木) 10:00～16:00	無料	不要
Pink Ribbon × Hula	ピンクリボンとフラのイベント。フラダンスの発表、雑貨販売やワークショップを通し、乳がんについて考える。	10月12日(日) 10:00～16:00	一部有料	不要
小学生のための 「わたしとあなたの大事なからだ」	子どもが性犯罪の被害者にならないように、保護者や周囲の大人が正しく理解する機会を提供する。	10月26日(日) 10:30～12:30 予定	無料	あいパルのミニコミ誌「PALDISE」をご確認ください
乳幼児のための 「わたしとあなたの大事なからだ」		12月14日(日) 10:30～12:30 予定		

第14回

性別にかかわらず いきいきと働ける市内の企業を紹介！

(公財)戸田市文化スポーツ財団

私たちは、文化会館とスポーツセンターの運営を通じて、質の高い体験空間の提供と創造人材の育成をすることや、スポーツ教室や地元トップアスリートとのふれあい、アウトリーチ事業等も提案し、市民生活の向上に努めています。

職員の誰もが働きやすい職場づくりとして、有給での子の看護休暇や介護休暇をはじめ、育児のための短時間勤務を小学校就学の始期まで拡大するなど、休暇制度や勤務体制の改善に取り組んでいます。その取り組みを職員が活用しやすいように、デジタルツールを活用し、対象者への告知やメールマガジンなどで積極的に柔軟な働き方を促すことで、実際に男性職員が連続した育児休業を取得したり、出産した女性職員が働き続けることができたりしています。今後も安心していきいきと働ける職場を目指してまいります。



戸田市パートナーシップ・ファミリーシップ
届出制度の連携拡大

男女共同参画
人材リストの
登録者募集

回覧

2025.7
Vol.73

戸田市男女共同参画情報紙

つばさ

やさしいまちに、なりたい。



戸田市男女共同参画キャラクター
「ピリーちゃん」「リブちゃん」

特集

つばさ編集協力員が考える
女性活躍の推進ってなんだろう？



写真：戸田橋花火大会

Contents

・特集

・配偶者暴力相談支援センターの案内

・困った時・悩んでいる時の相談窓口

・戸田市の男女共同参画の推進拠点「あいパル」のイベント・講座案内

・性別にかかわらずいきいきと働ける市内の企業を紹介！

・戸田市からのお知らせ



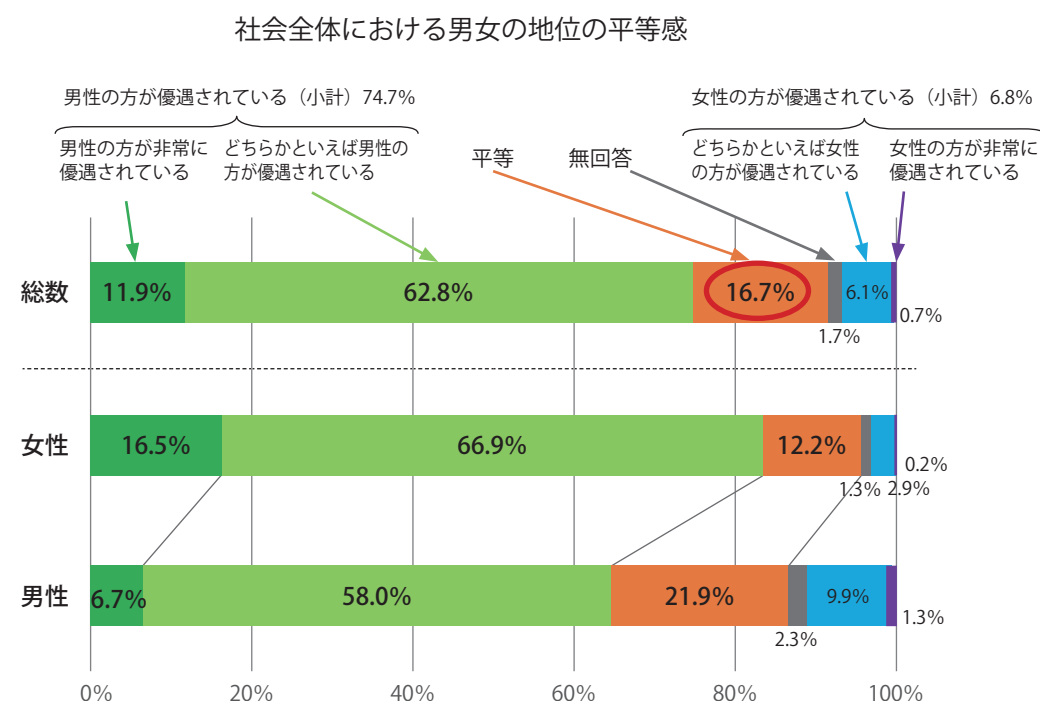
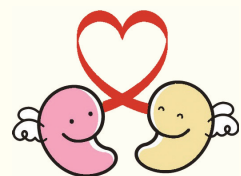
「つばさ」の
バックナンバー
はこちらから

特集

つばさ編集協力員が考える ～女性活躍の推進ってなんだろう？～

男女共同参画社会とは、男女が互いに尊重しあい、「男性らしさ」「女性らしさ」とらわれることなく、それぞれの個性や能力を発揮できる社会のことを指します。

内閣府の「社会全体における男女の地位の平等感」では、社会全体で見た場合には、「平等」と答えた人の割合は**16.7%**、「男性の方が優遇されている」と答えた人の割合は、なんと**74.7%**！近年、「女性活躍」を推進しようとする動きも出てきていますが、数値的に見ると「男女共同参画社会」とはかけ離れている現実が、まだまだあります。



(出典) 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(令和6年9月調査) (https://www.gender.go.jp/research/pdf/joseikatsuyaku_kadai.pdf) を加工して作成

そこで、今回は、つばさ編集員で「女性活躍の推進」について、自身の体験も踏まえながら話し合ってみました。

●そもそも女性活躍ってなんだろう？

Aさん： 仕事だけでなく、家庭や地域でも自分の力を発揮できることが大切だと思う。

Bさん： 「これがやりたい」という希望が実現して、その中でやりがいを持てることだと思う。

Cさん： その人の人生の中で一生懸命取り組んできたことが活躍なんじゃない？

Dさん： 選ばされているわけではなく、その人が選んで進めることが活躍につながると思うよ。

●選択肢が増えたら頑張れる

Aさん： 私が会社で働いていた頃は「夫の転勤が決まった時は、妻が仕事をやめてこどもと一緒に転勤先についていくというのが当たり前」という風潮だった。今みたいにリモートで仕事することも難しかった。日中はこどもと1人で向き合わなければいけないから孤独を感じていたな。

Bさん： キャリアプランとかも、自分で納得のいくように決めたことなら前向きに頑張れるよね。選択肢がしっかり用意されている環境が必要だと思う。

●活躍は会社で働くことだけではない

Cさん： 私の母は忙しく仕事をしていたので、簡単な食事しか出てこなかったけど、しっかり育ててもらえた。仕事で業績を残すとか、そういったことだけが全てじゃないと思う。

その人の人生の中で一生懸命取り組んでいたことが活躍なんじゃないのかな。それを許容できる社会も大切だと思う。

Dさん： 「女性は活躍をしても良いけれど、家事も頑張って取り組んでね」という傾向がまだまだ見られるよね。日本は、ジェンダーギャップ指数*も146か国中118位だし、世界と比べるとまだ日本は男女の格差があるよね。



順位	国名	値
1	アイスランド	0.935
2	フィンランド	0.875
3	ノルウェー	0.875
4	ニュージーランド	0.835
5	スウェーデン	0.816
7	ドイツ	0.810
14	英国	0.789
22	フランス	0.781
36	カナダ	0.761
43	アメリカ	0.747
87	イタリア	0.703
94	韓国	0.696
106	中国	0.684
116	バーレーン	0.666
117	ネパール	0.664
118	日本	0.663
119	コモロ	0.663
120	ブルキナファソ	0.661

*ジェンダーギャップ指数・・・WEF（世界経済フォーラム）が公表しているもので、経済・政治・教育・健康から算出される男女格差の指数。

(出典) 内閣府「GGI ジェンダー・ギャップ指数」(https://www.gender.go.jp/international/int_syogaikoku/int_shihyo/index.html) を加工

●こうあるべき、でなくたっていい

Aさん： さまざまなメディアで、仕事をバリバリ頑張っている女性が活躍している姿を見たり、家庭での節約が素晴らしいという記事を見たりすると、自分はどちらにも所属していないんじゃないかと感じてしまい複雑な気持ちになるな。

Bさん： 仕事上、誰もが「こうあるべき／目指すべき」というロールモデルを提示することがある。それに憧れるのは悪いことではないけれど、「自分は自分」という気持ち大切だし、幸せにもつながるはず。家事や育児の一見地味な作業や、お金にならない働きも「活躍」だと捉えることもできる。そもそも、何もできなくても生きているだけで良いという考えも絶対に必要！



●一人で頑張らなくて良い社会

Aさん： 私は、実家も義実家も遠方で転勤族だったから、ファミリー・サポート・センター事業*を使ったよ。自分を助けてくれるお守りのような存在だった。安心感はとても大切だし、制度にすごく助けられた。

Dさん： そういう時に自治体の役割は非常に大きいと思う。市民が参加し、色々意見を出し合って一緒に考えていく場が沢山あると、環境を整えることができる。それが、女性が活躍できる場所を増やすことにつながるんじゃないかな。

Cさん： 企業は国の指針に沿って男女格差解消に努めている。私たちが生きている社会では、各人がやりたいことを無理なくできるよう、助け合って協力していこうという寛容さが必要だよ。

自分の生き方を自分で選択できる環境があること。その選択を実現するための周りのサポートや取組があること。それこそが、女性がいきいきと活躍できる未来につながるのではないのでしょうか。
皆さんも「女性活躍」とは何か、どうすれば実現できるかを、ぜひ考えてみてくださいね。

◎座談会の中で出てきた『ファミリー・サポート・センター事業』について◎

生後6か月から小学校卒業までのお子さんの一時的な預かりや送迎などを行っています。地域の助け合い活動として行っていますので、子育てのお手伝いをしたい方（提供会員）とそれを受けたい方（依頼会員）が双方会員となり、利用できるものとなっております。会員の条件や入会の仕方などの詳細は右の案内からご覧ください！



ファミリー・サポート・センター事業



戸田市の子育て支援事業